



## 日本における決済の将来像の再創造

日本では、製造から金融のテクノロジーを支える情報産業に至るまで、幅広い分野において創造的な変革を成し遂げてきた歴史があります。日本が世界に先駆けて、銀行と企業および個人に向けての電子的な決済システムを実現したのは 40 年以上も前のこととなりますが、近年では変更部分の増加への対応などなど、システムの保守が主体となってしまっている状況です。

今日では日本のみならず海外でも、新たなテクノロジーを活用することにより国内および国際決済に大きな変革が始まっています。

本日のペイメント イノベーションフォーラムでは、現在の日本における決済業務が直面している課題と、ビジネスの可能性について俯瞰したうえで、銀行業務の将来像を提言致します。決済手段は日々変化し続けています。今や国内の決済は、手持ちの現金での決済が減り、ボタンをクリックするだけでリアルタイムに支払いが完了する事が当たり前となっています。外国送金についても従来より格段にスピードアップされた追跡可能な透明度の高い方式が採用されています。またこれらと並行して、日本の 110 の銀行についても “オープンバンキング” 化に向けての推進が加速し、2020 年までにはこれらのすべての銀行がシステムのオープン化を実施することになってます。

これらの変化は新しいことへの挑戦なしには実現しません。より迅速な決済のためには適切なシステムが必要となり、一方で日々変化し高度化する詐欺やサイバー犯罪への対応も欠かせません。またイノベーションのためには国際標準の利用や将来陳腐化しない基盤の利用が必要になります。

このペイメント イノベーション フォーラムにより日本のコミュニティが知見を幅広く共有し、将来に備えるための良い機会となれば幸いです。



SWIFT アジアパシフィック  
マネージングディレクター  
エディー ハダッド



SWIFT アジアパシフィック  
ペイメント トレード アンド コミュニケーションズ  
マネージングディレクター  
マイケル ムーン

## プログラム (予定)

8:30 – 9:00 am	開場・モーニングレセプション
9:00 – 9:15 am	開会のご挨拶ならびに SWIFT Japan の活動について スイフト・ジャパン カントリー マネージャー アランデルフォッセ
9:15 – 9:30 am	グローバル決済のイノベーション – 5年後の予想図 SWIFT アジアパシフィック マネージングディレクター エディー ハダッド
9:30 – 10:10 am	基調講演 <b>Instant Payment in Australia, the value of new payment platform</b> New Payments Platform Australia (NPP) 最高経営責任者 エイドリアン ロブニー 氏
10:10 – 11:00 am	<b>gpi – デジタル時代における決済の再構築、新たな "norm" (新常态) としての gpi</b> – より迅速で透明度が高く、追跡可能かつ低コストな決済手段の新たな標準 既に gpi を導入されている邦銀・外銀および導入予定の地銀・事業法人から、これまでの課題を解決した方法やそのビジネス上の効果、今後さらなる進化のためのビジョンなどを共有いただきます。 <u>プレゼンテーション (10分)</u> スイフト・ジャパン ペイメントマーケット担当ディレクター 鈴木 咲子 <u>パネルディスカッション (40分)</u> モデレーター: スイフト・ジャパン ペイメントマーケット担当ディレクター 鈴木 咲子 パネリスト: ドイツ銀行 東京支店 金融法人部長 ディレクター 有永 康子 氏 三井住友銀行 決済企画部 部長 川越 洋 氏 三井物産株式会社 財務部 計数管理室長 坪井 充 氏
11:00 – 11:30 am	<b>決済メッセージとその基盤の将来像</b> 日本の市場の課題に対して、海外における各国での経験に基づき SWIFT 日本は決済の変革をどのように支援しさらなる進化を推進できるか、世界で今何が起きているか、new PLATFORM- gFAST、預け・預かり口座の照合の実証実験、ビッグデータ解析、人工知能、API の Sandbox とその先に来るものをご紹介します。 SWIFT アジアパシフィック ペイメント トレードアンドコミュニケーションズ マネージングディレクター マイケル ムーン

11:30 am – 1:00 pm	<b>昼食・ネットワーキング</b>
1:00 – 2:00 pm	<p><b>日本における決済についての課題</b></p> <p>リアルタイムの国内決済は新たな“norm”（新常态）になりつつあります。日本および海外での最新の決済業界の情報やサービスをご紹介しながら、日本における決済の将来像について議論を行います。世界に貢献できるような、革新的な日本の決済を実現するために、日本の決済はどうなっていくのか、またどうなるべきなのか、パネリストの皆様の知見にもとづいたご意見を頂きます。</p> <p><b>プレゼンテーション（15分）</b></p> <p>麗澤大学 経済学部 教授 中島 真志氏</p> <p><b>パネルディスカッション（45分）</b></p> <p>モデレーター： 麗澤大学 経済学部 教授 中島 真志氏</p> <p>パネリスト： New Payments Platform Australia (NPP) 最高経営責任者 エイドリアン ロブニー氏 株式会社インフォキュリオングループ 代表取締役社長 一般社団法人 Fintech 協会 代表理事会長 丸山 弘毅氏 (他、2名の外部パネリスト様を予定しております。)</p>
2:00 – 2:30 pm	<p><b>決済メッセージプラットフォームの今後とトランザクションバンキングのベストプラクティス（仮題）</b></p> <p>トランザクションバンキング業務における効率、規模、また機動力向上に役立てていただける SWIFT の次世代ソリューションをご紹介します。</p> <p>スイフト・ジャパン ソリューション・アーキテクト 茅花 充</p>
2:30 – 3:00 pm	<b>コーヒーブレイク</b>
3:00 – 4:00 pm	<p><b>リアルタイムの世界におけるリスク管理</b></p> <p>本年予定されている第四次 FATF 対日相互審査にむけて一段のコンプライアンス体制強化が求められる中、多くの金融機関は、金融犯罪対策の高度化を求める各種法令への対応、資金決済プラットフォームのリアルタイム化、高まる顧客からの要請への対応というジレンマに直面しています。このセッションでは、広義の金融犯罪リスクである金融犯罪コンプライアンスと不正送金に代表される新しいリスクであるサイバーセキュリティという二つの側面から、リアルタイム化が進む世界におけるリスク管理について議論します。</p> <p>SWIFT アジアパシフィック インテリジェンス データソリューション及び 金融犯罪対策部門責任者 ガイ シェパード 金融庁 総務企画局 マネーロンダリング・テロ資金供与対策企画室長 尾崎 寛氏 (他、1名の外部ご講演者様を予定しております。)</p>
4:00 – 5:00 pm	<p><b>決済イノベーションを実現する標準化</b></p> <p>決済イノベーションにおいても、標準化は大きな役割を果たします。SWIFT スタンダードと W3C 等の業界団体の協力、API における標準活用 (ISO 20022 API) のビジネスケースと今後の展望、また SWIFTNet における ISO 20022 移行とクロスボーダー決済についてユーザーコミュニティの皆様にお伝えいたします。</p> <p>SWIFT アジアパシフィック スタンダード及びキャピタルマーケット部門責任者 リサ オコナー (他、1名の外部ご講演者様を予定しております。)</p>
5:00 – 5:10 pm	<p><b>閉会のご挨拶</b></p> <p>日本代表 SWIFT 理事 三菱 UFJ 銀行 トランザクションバンキング部 部長 中武 浩史氏</p>
5:10 – 6:30 pm	<b>レセプション</b>